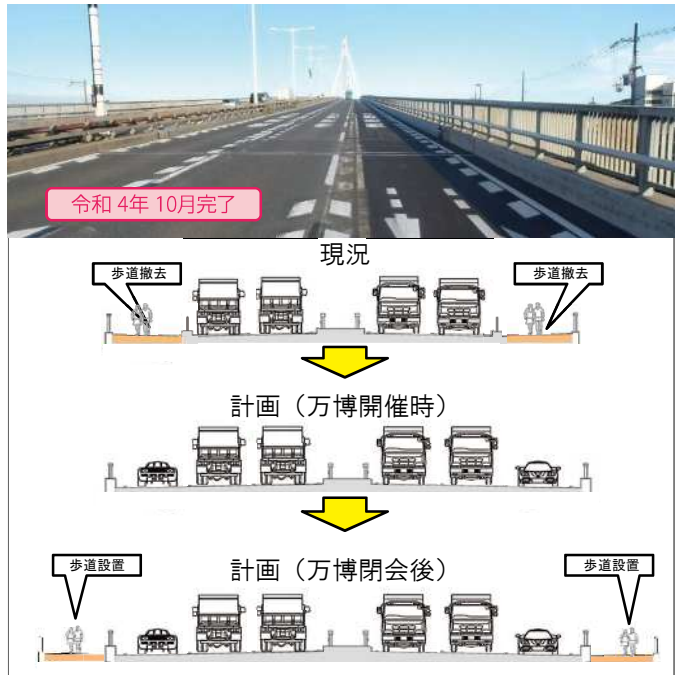




舞洲整備イメージ

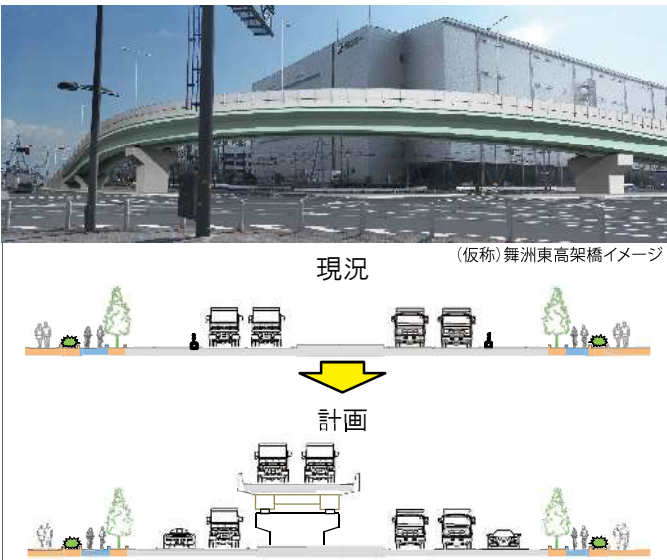
此花大橋改良

歩道を撤去し、車線を4車線から6車線に拡幅することで、通行の円滑化を図ります。なお、万博開催時は通行の円滑化のために歩道を車道としますが、万博閉会後は車道の外側に歩道を設置し、歩行者及び自転車の通行を可能にします。



(仮称)舞洲東高架橋

夢舞大橋から此花大橋に向かう北行の右折2車線を立体交差化することにより、右折車両の円滑な交通動線を確保するとともに、舞洲幹線道路は万博工事が本格化するまでに現状の4車線から6車線にすることで、交通容量を拡充します。
なお、此花大橋から夢舞大橋方面への左折交通については、万博開催時は常時左折可(平面左折2車線)とし、円滑な通行を確保します。



2025年日本国際博覧会

夢洲は2025年日本国際博覧会の会場となり、万博開催により大阪・関西の魅力を世界に発信し、経済や地域の活性化に寄与することが期待されています。



会場バース：(Provided By: Japan Association for the 2025 World Exposition)

開催概要

- ・開催期間 2025年4月13日～10月13日(予定)(184日間)
- ・テーマ いのち輝く未来社会のデザイン
- ・入場者想定 約2,820万人

開催目的

「万博」には、人・モノを呼び寄せる求心力と発信力があります。この力を2020年東京オリンピック・パラリンピック後の大阪・関西、そして日本の成長を持続させる起爆剤にします。

2025年日本国際博覧会がめざすもの

- ・持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献
- ・日本の国家戦略 Society5.0 の実現

工事車両の運行管理

夢洲等における整備事業では、インフラ事業、万博事業、IR事業といった異なる事業の工事車両が輻輳することから、周辺交通へ影響を及ぼさないように工事車両の運行管理をする必要があります。

そのため、各ルート、時間帯毎に通行台数を設定し、設定した台数を遵守しているかをAIカメラ等を活用して管理するシステムを構築することとしています。

2023年度から万博工事が本格化することから、2023年1月から試行運用を行い、同年4月から本格運用を開始します。

通行ルート

工事車両の通行ルートは北・中央・南の3ルートに限られています。
周辺交通へ影響を及ぼさないためにルート毎、時間帯毎に各事業の工事車両台数の調整を行っています。

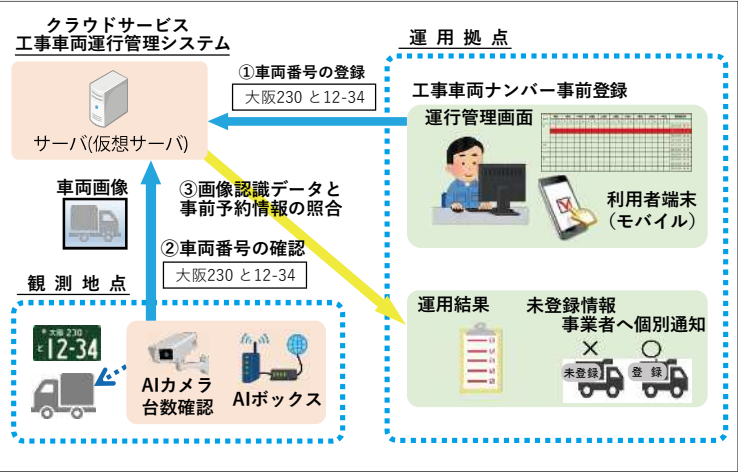


工事車両の台数調整

工事車両が多い8時～17時の9時間において、各事業者の工事車両の上限値をルート毎・時間帯毎に設定しています。

AIカメラ等を活用した工事車両の運行管理イメージ

調整した台数が、計画通りに通行しているかを管理するために運行管理システムを構築します。



工事車両の運行ルール

夢洲関連事業の工事車両の通行にあたっては、関係事業者や受注者に対して運行ルールを定め、高速道路の積極的な利用をお願いしています。



(例)工事車両表示(ゼッケン)の設置